

GECOSS REPORT

45th

第45期 株主通信 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



ジェコス株式会社

証券コード：9991

目次

- 01 トップインタビュー
- 03 特集
東日本大震災の復旧・復興に
向けて全力で支援
- 05 トピックス
建設技術審査証明「ジェコソ
イルシステム(GSS)」の内容
変更・更新
- 06 連結財務ハイライト
- 07 連結財務諸表
- 09 会社概要・役員・株式の状況
- 10 グループ紹介・ネットワーク

トップインタビュー

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第45期第2四半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業概況につきまして、後記のとおりご報告申し上げます。

ご高覧のほどお願い申し上げます。



Q1

当第2四半期の経営環境は
いかがでしたか？

A1

当第2四半期の建設業界は、東日本大震災の影響や、急速な円高、海外経済の下振れ懸念により、民間設備投資や公共工事の一部が先送りされるなど市場の縮小傾向が続く、先行きの見えない経営環境で推移しました。

Q2

当第2四半期の業績は
いかがでしたか？

A2

仮設鋼材事業においては、全国的に建設需要が大きく低迷したため、売上数量が減少し、売上高は319億40百万円となり、経常損失5億95百万円の計上を余儀なくされました。

建設機械事業においては、震災復興関連や節電対策等により、発電機や高所作業車の稼働率が改善し、レンタル料単価が底入れしたことから、売上高は57億31百万円となり、また、平成22年3月期に実施した事業再編を含む抜本的収益改善策等の効果もあ

り、経常利益は5億88百万円となりました。

以上の結果、採算性を重視した受注活動を行うなど、収益力の向上に努めてまいりましたが、当第2四半期における連結売上高は361億47百万円となり、また、利益面においては営業利益4百万円、経常損失63百万円、四半期純利益は23百万円となりました。

Q3

通期の見通しについて
お聞かせください。

A3

当企業集団をとりまく経営環境は、東日本大震災後の復旧・復興への取組みが徐々に始まり、凍結されていた案件も動き出すなど好転が期待されるものの、円高の進行や世界経済の不安定な状況が建設投資の先行きに不透明感をもたらすなど、引き続き厳しい状況が続くものと想定しています。

このような経営環境において、当企業集団は、まず、「東日本大震災復旧・復興協力班」を立ち上げ、

復旧・復興に全社を挙げて一元的かつ機動的に対応してまいります。また、引き続き貸貸単価の改善に取り組み、鋼材市況・建設機械レンタル市況の動向を注視しつつ、適正単価の確保に向けて粘り強い価格交渉を継続してまいります。

加えて、鋼材の適正保有、調達コストの圧縮、全社的な経費削減をより一層推進してまいります。建設需要の動向については、未だ不透明感が拭えない状況にあることから、通期の連結売上高は740億円、連結営業利益は16億円、連結経常利益は13億円、連結当期純利益は7億円を見込んでいます。

なお、当期の中間配当につきましては、実施を見送らせていただくことといたしましたので、何卒ご了承賜わりますようお願い申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

平成23年11月

取締役社長

弓場 勉



01

SUPPORT

建設機械

震災直後より発電機、高所作業車やバックホーなど、多くの建設機械を提供しています。



特集

東日本大震災の 復旧・復興に向けて 全力で支援

ジェコスグループは、グループ一丸となって東日本大震災の復旧・復興に向けて取り組んでおります。

その一環として、「東日本大震災復旧・復興協力班」を立ち上げ、一元的かつ機動的に支援できる体制を整備いたしました。

今回は、ジェコスグループの東日本大震災の復旧・復興における取組みについてご紹介いたします。

SUPPORT 01-1

発電機

発電機は、停電や電力不足対策のため、建設作業以外でも多く使用されています。



SUPPORT 01-2

バックホー

バックホーは、主に瓦礫の撤去や整地を行うために使用されています。





02

SUPPORT

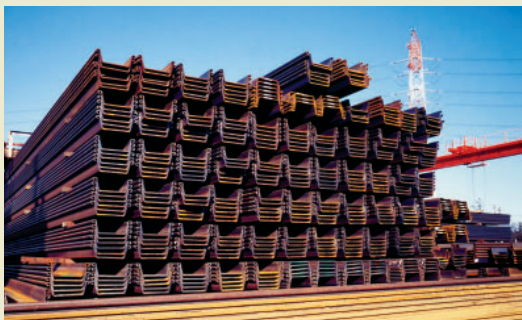
仮設鋼材

現在、護岸工事に使用される鋼矢板や地盤養生のための敷鉄板などを中心に建設作業所に提供しています。今後、本格的な復旧・復興工事が始まれば、山留材などその他の仮設鋼材もより多く必要とされることを見込まれます。

SUPPORT 02-1

鋼矢板

鋼矢板は、両端を連結し地下に壁を造ることで土砂や水を防ぐことができます。



使用例

鋼矢板は、水際に打ち込むことで河川や港湾などの復旧に使用されています。



SUPPORT 02-2

敷鉄板

敷鉄板は、仮設の道路や建設作業所の養生に使用されています。



SUPPORT 02-3

山留材

山留材は、地下を掘削する際、地盤の崩れを防ぐために使用されます。



建設技術審査証明「ジェコソイルシステム(GSS)」の内容変更・更新

GSS工法は、2005年に(社)日本建設機械化協会から建設技術審査証明を取得していますが、2011年に技術改良により内容変更・更新取得しました。

GSS工法は、山留工事のひとつであるソイルセメント柱列壁工事の際に発生する余剰泥土(産業廃棄物)をセメントミルクの一部として再利用することで、産業廃棄物となる泥土を低減することを可能にした環境にやさしい工法です。

昨今、環境保護・品質確保・安全性・低コストなどが叫ばれる中で、より信頼性の高いものが求められています。そ

のような要望にお応えするために、GSS工法は独自のリサイクルメカニズムを構築し、施工方法や施工機械の改善を行ってきました。その改善によって、高精度の泥土発生率(産業廃棄物となる泥土の発生量)が予測でき、かつ産業廃棄物となっていた建設汚泥の一部が再資源化できる可能性も高まり、国土交通省が推進する「建設汚泥のリサイクル」の主旨にも合致していることから、今回の内容変更・更新の開発目標に掲げて取り組んでまいりました。その結果、目標を達成し(社)日本建設機械化協会から審査証明を受けることができました。



余剰泥土をリサイクルする
ジェコソイルシステム



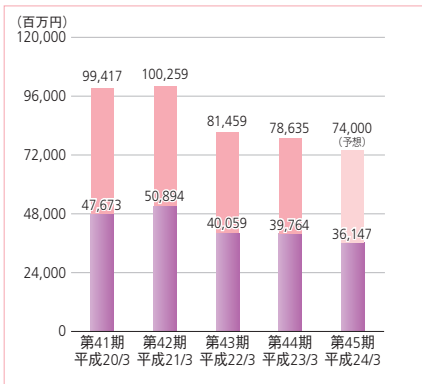
連結財務ハイライト

(当第2四半期)

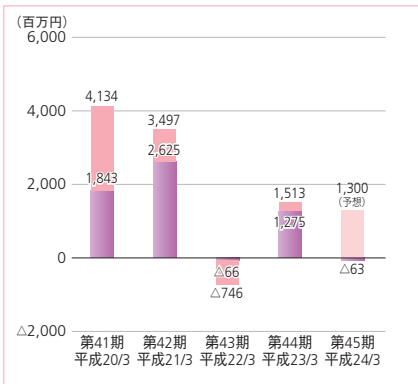


売上高	36,147百万円	総資産	83,041百万円
経常利益	△63百万円	純資産	25,569百万円
四半期純利益	23百万円	自己資本比率	30.8%
1株当たり四半期純利益	0.64円	ROE	0.1%

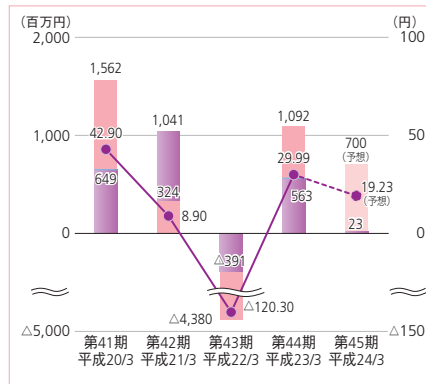
売上高 ■ 通期 ■ 第2四半期



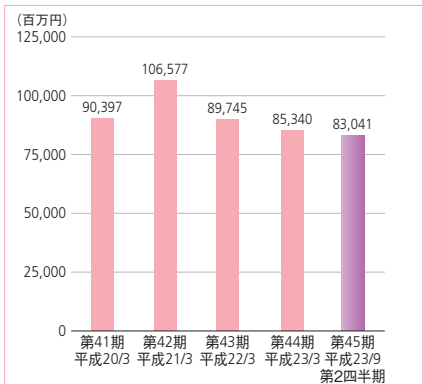
経常利益 ■ 通期 ■ 第2四半期



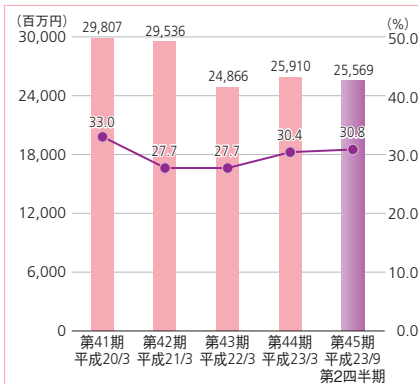
純利益 ■ 通期 ■ 第2四半期 1株当たり純利益 ●



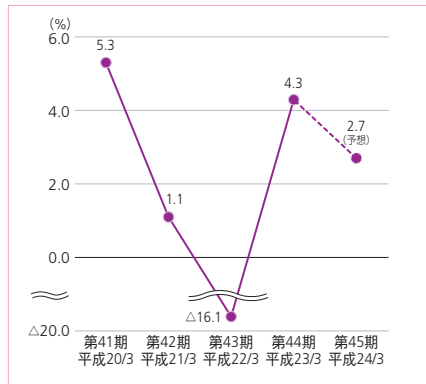
総資産 ■ 通期 ■ 第2四半期



純資産 ■ 通期 ■ 第2四半期 自己資本比率 ●



ROE



連結財務諸表

□要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

Point 1 資産合計

資産合計は、前期末と比較して22億99百万円(2.7%)減少し、830億41百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が30億38百万円減少したことによるものです。

Point 2 負債合計

負債合計は、前期末と比較して19億58百万円(3.3%)減少し、574億72百万円となりました。これは主に、リース債務が8億83百万円減少し、支払手形及び買掛金が4億97百万円減少したことによるものです。

Point 3 純資産合計

純資産合計は、前期末と比較して3億41百万円(1.3%)減少し、255億69百万円となりました。これは主に、四半期純利益23百万円を計上した一方で、前期末配当金2億91百万円(1株当たり8円)の支払いを実施したこと、その他有価証券評価差額金が73百万円減少したことによるものです。

科目	期別	当第2四半期 (平成23年9月30日)	前年同期 (平成22年9月30日)	前期 (平成23年3月31日)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金		2,926	2,954	3,302
受取手形及び売掛金		24,642	25,458	27,680
たな卸資産		27,642	26,702	26,141
その他		1,442	2,282	1,584
貸倒引当金		△ 640	△ 557	△ 549
流動資産合計		56,012	56,838	58,158
固定資産				
有形固定資産				
賃貸用建設機械		440	474	347
建物及び構築物		3,396	3,757	3,542
土地		13,311	13,631	13,318
リース資産		3,401	4,501	3,712
その他		1,006	1,414	1,121
有形固定資産合計		21,554	23,777	22,040
無形固定資産				
投資その他の資産				
投資有価証券		2,195	2,068	2,254
その他		3,283	2,306	3,132
貸倒引当金		△ 589	△ 748	△ 665
投資その他の資産合計		4,889	3,626	4,722
固定資産合計		27,030	27,838	27,183
1 資産合計		83,041	84,676	85,340
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金		22,283	20,666	22,780
短期借入金		25,250	24,650	25,250
リース債務		2,500	3,882	2,884
未払法人税等		187	109	78
引当金		620	728	710
その他		1,399	2,349	1,993
流動負債合計		52,239	52,384	53,696
固定負債				
長期借入金		—	600	—
リース債務		2,683	3,846	3,182
再評価に係る繰延税金負債		2,201	2,204	2,204
引当金		340	366	333
その他		9	27	16
固定負債合計		5,233	7,044	5,734
2 負債合計		57,472	59,428	59,431
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		4,398	4,398	4,398
資本剰余金		4,596	4,596	4,596
利益剰余金		17,966	18,085	18,230
自己株式		△ 15	△ 14	△ 14
その他の包括利益累計額		△ 1,376	△ 1,815	△ 1,299
その他有価証券評価差額金		101	41	174
土地再評価差額金		△ 1,477	△ 1,856	△ 1,473
3 純資産合計		25,569	25,248	25,910
負債・純資産合計		83,041	84,676	85,340

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

□ 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計)	前年同期	前 期
		自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年3月31日
売上高		36,147	39,764	78,635
売上原価		30,131	32,848	65,776
売上総利益		6,016	6,916	12,859
販売費及び一般管理費		6,012	5,520	11,197
営業利益		4	1,396	1,662
営業外収益		176	226	477
受取利息		1	1	2
受取配当金		14	6	36
投資有価証券売却益		—	1	1
持分法による投資利益		59	62	103
固定資産処分益		8	73	117
貸倒引当金戻入額		66	6	79
その他		28	77	140
営業外費用		243	347	626
支払利息		222	304	543
手形売却損		14	18	33
その他		7	25	49
経常利益又は経常損失(△)		△ 63	1,275	1,513
特別利益		—	—	97
貸倒引当金戻入額		—	—	54
事業再編損失 引当金戻入額		—	—	43
特別損失		6	247	349
投資有価証券評価損		—	33	44
減損損失		6	9	14
特別退職金		—	205	205
災害による損失		—	—	85
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)		△ 69	1,028	1,261
法人税、住民税及び事業税		174	79	114
法人税等調整額		△ 267	386	56
法人税等合計		△ 92	465	170
四半期(当期)純利益		23	563	1,092

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

□ 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計)	前年同期	前 期
		自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー		1,425	2,813	4,624
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 30	229	549
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 1,770	△ 2,629	△ 4,411
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△ 376	413	761
現金及び現金同等物の 期首残高		3,302	2,540	2,540
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		2,926	2,954	3,302

(注) 記載の金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point 4 キャッシュ・フローの状況

連結ベースの現金及び現金同等物残高は、前期末と比較して3億76百万円(11.4%)減少し、29億26百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、14億25百万円(前年同期28億13百万円)となりました。これは主に、売上債権の減少による資金増加が31億83百万円となった一方で、たな卸資産の増加による資金減少が15億1百万円となったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△30百万円(前年同期2億29百万円)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、△17億70百万円(前年同期△26億29百万円)となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が14億79百万円、前期末配当金の支払額が2億91百万円となったことによるものです。



グループ紹介・ネットワーク

□グループ紹介

ジェコスグループ力を最大限に発揮し、日本の街づくりを基礎から支えています。

当企業グループは、建設仮設材の賃貸および販売等を主たる事業内容とする当社を中核として、建設機械、事務用機器の賃貸等、各建設作業所における関連商品群を取り扱い、仮設工事の設計、施工等の役務提供と一体となった総合的な営業活動を全国規模で展開しています。

ジェコス株式会社



- 建設仮設材の賃貸、販売
- 加工品の製作加工
- 仮設工事の設計、施工
- 建設機械の賃貸
- 建設仮設材等の修理、運送

	鋼材 業界トップクラスの品揃えで、既製品のみならず、特殊な加工製品まで取り扱っています。	子会社 ジェコス北海道(株) リプロダクション(株)	関連会社 協友リース(株) 北日本建材リース(株)
	工事 豊富な経験と実績を活かし、各建設作業所のニーズに合わせた施工をプロデュースしています。	子会社 ジェコス工事(株)	
	建設機械 建設工事に必要なあらゆる機械や什器・備品まで幅広い品揃えで対応しています。	子会社 (株)レクノス、(株)レンタルシステム芙蓉、 (株)レンタルシステム東北、(株)レンタルシステム東海、 (株)レンタルシステム西日本、(株)レンタルシステム新潟	
	運送 全国に展開した工場ネットワークで、あらゆるオーダーに迅速に対応しています。	子会社 トラック・エンド・メンテナンス・サービス(株)	

□ネットワーク



大阪営業本部



本社

- 本社
- ▲ 静岡営業所
- 青森出張所
- 北海道工場
- 大阪営業本部
- ▲ 北陸営業所
- 高崎出張所
- 仙台工場
- 札幌支店
- ▲ 岡山営業所
- 茨城出張所
- 東京工場
- 東北支店
- ▲ 福山営業所
- ジェコス蘇我出張所
- 長沼工場
- 北関東支店
- ▲ 松山営業所
- 浜松出張所
- 日本海工場
- 千葉支店
- ▲ 中九州営業所
- 山陰出張所
- 名古屋工場
- 横浜支店
- ▲ 熊本営業所
- 宮崎出張所
- 大阪工場
- 新潟支店
- 中国工場
- 四国工場
- 名古屋支店
- 広島支店
- 福岡工場
- 四国支店
- 九州支店
- 鹿児島工場
- 九州支店
- 南九州支店
- 富里機械センター

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-78-2031（フリーダイヤル）
株主名簿管理人 電子公告
事務取扱所 電子公告
公告方法 電子公告
なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
※公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.gecoss.co.jp>

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待



当社は、株主優待を実施しています。

今回は、「ステンレス プチフライパン」

をご用意し、平成23年3月末日

の100株以上ご所有の株

主の皆さまへお送りい

たしました。



9月末の株主優待につきましては、当面実施を見送らせていただくことといたしましたので、ご了承ください。

株主アンケート

証券コード：9991

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9991

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄給(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



ジェコス株式会社